

## 日本生物物理学会 東北支部会 2018

日時：平成30年11月9日（金） 13時15分～17時05分

会場：山形大学米沢キャンパス百周年記念会館セミナー室

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/campus/>

地図：<https://goo.gl/maps/tJ7a8RerWXy>

受付：12時45分～

### プログラム

支部会総会 13:15～13:30

講演会 13:30～17:05 座長：羽鳥晋由（山形大学）

一般口頭発表（発表9分，質疑・交代3分）

- 13:30-13:42  
ノイズの強い二次元投影像の分類  
○高野直人，吉留崇（東北大学大学院工学研究科応用物理学）
- 13:42-13:54  
巨大蛋白質会合体へモシアニンの構造解析  
○田中良和（東北大学大学院生命科学研究科）
- 13:54-14:06  
モデル蛋白質を用いた Thioflavin-T 結合メカニズムの調査  
○浪岡沙英，真壁幸樹（山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学専攻）
- 14:06-14:18  
蛋白質環状化反応による新規小型二重特異性抗体の作製と評価  
○逸見早紀，梅津光央，真壁幸樹（山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学専攻）
- 14:18-14:30  
光誘起ジスルフィド形成によるガレクチン構造変化の時間分解計測  
○黒井邦巧，植木睦貴，中林孝和（東北大学大学院薬学研究科）

休憩 14:30-14:40

一般口頭発表

- 14:40–14:52  
ヒト培養細胞から基板支持細胞膜を直接作る研究  
○土田修平, 鈴木琢斗, 奥野貴士 (山形大学理学部)
- 14:52–15:04  
植物細胞のプロトプラストやオルガネラの形態制御に関する研究  
○奥野貴士, 菱沼佑, 佐藤遙太 (山形大学理学部)
- 15:04–15:16  
アセトニトリル分子が引き起こすリポソームダイナミクス  
○吉田一也<sup>1</sup>, 堀井啓太郎<sup>2</sup>, 三森涼平<sup>2</sup>, 高嶋明人<sup>2</sup>, 藤井康裕<sup>3</sup>, 西尾泉<sup>2</sup> (<sup>1</sup>山形大学大学院理工学研究科, <sup>2</sup>青山学院大学理工学部, <sup>3</sup>立命館大学理工学部)
- 15:16–15:28  
アクチンの滑り運動に関する理論モデルの厳密解  
○鳥谷康平, 佐々木一夫 (東北大学大学院理工学研究科)
- 15:28–15:40  
強制回転状態にある分子モーターのトラジェクトリを用いた動作機構の推定法  
○支倉雄一, 佐々木一夫 (東北大学大学院理工学研究科)
- 15:40–15:52  
F-actin 周りのハイパーモバイル水の筋力源としての可能性とイオン強度とリン酸塩の効果  
○鈴木誠 (東北大学名誉教授)
- 15:52–16:04  
無機ポリリン酸のアクトミオシン相互作用への効果  
○伊藤光司, 宮坂禎也, 羽鳥晋由 (山形大学大学院理工学研究科応用生命システム工学専攻)

休憩 16:04–16:15

16:15–17:05

招待講演「分子モーター研究の新しい潮流 ～バクテリアとアーキアの多彩な運動～」

西坂崇之 (学習院大学理学部物理学科 教授)

懇親会

17:15–19:15 カフェ吾妻 (百周年記念会館 2F)

-----  
東北支部会ホームページ：<http://biophys-tohoku.jp/>

メーリングリスト登録：<http://biophys-tohoku.jp/maillinglist/>